

## 112 コチョウゲンボウ

(ハヤブサ目)

兵庫県ランク:C

*Falco columbarius*

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

日本では冬鳥。兵庫県では主に9-翌4月に記録がある。平地の森林や農耕地、海岸、埋立地などに生息する。田畑や埋立地の草原で主に小鳥類やネズミ類、昆虫類を捕食する。



写真提供:但馬野鳥の会

### 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、明石市、(伊丹市)、豊岡市、(加古川市)、(赤穂市)、小野市、加西市、(丹波市)、(加東市)、たつの市、稲美町、(香美町)



### 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

1960年代から1970年代頃に一時的に記録されなかった時期があるが、その後は不規則ながらも県内各地で記録されている。もともと個体数は極めて少ない。

### 保護上の留意点

草原性の昆虫類や小鳥類など、本種の餌となる小動物が減ったことが、主な減少要因である。保護には農薬や除草剤の使用制限および河川敷の河畔林や草地の再生と動物群集の増殖が必要。